

# 野鳥たちが織り成した感動の2日間



根室半島のすばらしい自然の中に生息する野鳥たちを通し、貴重な自然を絶やすことなく、どのように活かしていくかを考える「ねむろバードランドフェスティバル」が第3回目を迎え、全国の野鳥愛好家をはじめ、冬の根室の魅力を体験しようと訪れた観光客と市民で賑わいました。

天候に恵まれた2月13日と14日の両日、体験部門のラムサール条約湿地登録となっている風蓮湖・春国岱の「湖上探鳥会」には55名が参加し、国の天然記念物オオワシやオジロワシの乱舞と優雅な姿に魅了されました。歯舞漁港から納沙布岬を巡る「根室半島探鳥会」には、道内や本州からの参加者35名が、船上から約2時間の海鳥の観察を楽しみました。

児童手作りポストカード展や根室の動物たちを紹介する春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターには、子どもたちが自然の材料で自由に工作ができるコーナーなども設けられ、親子連れで楽しむ姿が会場をほのぼのと包み込み、青空の広がった窓からは、アカゲラやシジュウカラなどのかわいい姿を見ることができました。

厳しい季節でありながら、根室の自然がこんなにも優しく迎えてくれたことに、参加者の皆さんは感動を隠しきれません。この感動が、四季を通した根室の自然を大きな財産として、全国はもちろん世界の人々にまで広めてくれるでしょう。

私たちは、恵まれた自然と共存しながらも、そのすばらしさに気付かずにいるのではないのでしょうか。バードランドフェスで伝えられた一人ひとりの感動を、大切に育てることで新しい根室の姿が誕生します。



## 出会えてよかった

日本野鳥の会に、夫婦で籍を置いています。妻の野鳥好きに影響され、私も興味を持ち各地に観察に出かけるようになりました。

昨年の6月、第2回のバードランドフェスの全容を紹介した野鳥専門誌に、「オオワシのなる木」として、一本の木に果物がるようにオオワシが止まる写真が紹介されていました。この写真を見て、次の開催にはぜひ行ってみたいと、夏ごろから事務局に問い合わせをして、今回の参加が実現できました。大きな湖が凍り、その上を歩いてオオワシに出会いに行くというシチュエーションも最高で、驚くほどのワシたちの数に感動しました。

野鳥観察は、出かけて行けば見ることができるといふものではありません。2日間という短い時間の中で、これだけ多くの鳥たちを観察できたことは夢のようなことです。実に、「野鳥の楽園」と言われることに納得できました。

こんなすばらしい自然の中で、暮らすことができ、根室の方々には、この環境を大切にしてください、根室の大きいなる自慢として全国に発信していただきたいですね。



岐阜県関市

はやかわ 早川 田鶴(63)・八重子(60)さんご夫妻